【投稿】都知事選は延期すべきだった

会員　西田淳一

首都機能を麻痺させる恐れのある極めて不安定で深刻な震災後遺症を抱えた現状において、日本の顔である東京のリーダーを都民が適切に選ぶことは出来るであろうか。答えは明確にノーである。電力供給不足、放射能汚染の危険性、収まらぬ余震の恐怖から、都民がしっかりこれだと思う都知事を選ぶことに集中出来ない環境にあることは明らかであり、投票日まで残り一週間を切り、この状況が改善しないことも明白である。

候補者も平常時におけるような選挙活動を繰り広げることが出来ず、メデイアを通して政策を都民に訴えることが十分に出来ないでいる。東京から脱出する外国企業、外国人が後をたたないという有事の状態の中で、常識を持って物事を判断すれば、都民の意思を都政に直接反映させるという最も重要な都知事選を今は行うべき時では決してない。菅直人首相を筆頭に政治をつかさどる政治家と日本の政治が機能不全に陥っている事を、この都知事選は世界に発信しているように思う。